

幼稚園だより

6 月 号

令和3年 5月31日

荒川区立花の木幼稚園

園長 岩崎 昇

【私の子ども観】



子どもはダイヤモンド

できることを少しずつ

園長 岩崎 昇

早いもので、1学期も折り返し地点に差し掛かりました。入園したてと思っていた3歳児もすくすくと成長し、幼稚園にも慣れてきました。保育室では落ち着いて遊んだり、園庭では駆け回ったりして遊んでいます。

さて、残念なことです。緊急事態宣言が再延長となりました。まだまだ予断を許さない状況は変わりません。なかなか、通常通りの活動ができないわけですが、感染対策を講じながら、できることを探しつつ工夫しつつ、実行していきたいと考えています。

そこで、既にお伝えしています日曜参観の中止ですが、それに伴いまして、実施方法を工夫した形式で参観を実施します。新たに参観日程と方法を裏面に掲載しましたのでご覧いただき、おいでいただきますようお願いいたします。限られた時間となってしまいますが、できる範囲で工夫して行っていくということでご了承下さい。また、プールの活動については、例年通りとはいきませんが、こちらも密を避けながら、安全を最優先して分散して実施しますので、準備を進めていただきますよう、よろしくお願いします。遠足については、緊急事態宣言後の実施予定です。

繰り返しになりますが、できることを探しつつ、工夫しつつ行ってまいります。ご理解のほど、よろしくお願いします。

今月の保育のねらい

《3歳児：ひよこ組》

- ・簡単な身の回りの始末を自分でしようとする。
- ・教師や友だちと一緒に、好きな遊びを十分に楽しむ。
- ・水や泥の感触に親しみ、心地よさを知る。

《4歳児：こあら組》

- ・友だちとの関わりを楽しみながら、いろいろなことに興味をもって遊ぶ。
- ・水遊びやプール遊びに参加し、水に親しんだり、開放感を味わったりする。

《5歳児：いるか組》

- ・思ったことや考えたことを出し合いながら、友だちとの遊びを進める楽しさを味わう。
- ・梅雨の自然に興味や関心をもち、調べたり考えてみたりしようとする。

